

2023年4-6月期 GDP1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二)は、内閣府より8月15日(火)に公表予定の2023年4-6月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2023年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.6%(年率+2.4%)と予測します。

2023年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.6%(年率+2.4%)とプラス成長を予測する。

民間最終消費は、同+0.3%と予測する。物価高による下押しはあるものの、新型コロナ5類移行の影響から、飲食・宿泊などの外出関連サービス消費が回復したとみる。設備投資は、同▲0.1%と予測する。日銀短観の設備投資計画によると設備投資の拡大傾向が続くと見込むが、前期の反動が生じるとみる。

輸出は、同+2.5%と2四半期ぶりの増加を予測する。米欧向け輸出は、部品不足の緩和から生産の回復が進んだ自動車を中心に増加したほか、中国向け輸出も3四半期ぶりにプラスに転じた。輸入は、同▲1.0%の減少を予測する。外需は+0.7%ポイントのプラス寄与を見込む。

図表 2023年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2022年			2023年	
		4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP		1.4	▲0.4	0.1	0.7	0.6
	季調済前期比年率	(5.6)	(▲1.5)	(0.4)	(2.7)	(2.4)
民間最終消費		1.7	0.1	0.2	0.5	0.3
民間住宅投資		▲1.8	▲0.5	0.1	▲0.1	0.9
民間企業設備投資		2.2	1.5	▲0.6	1.4	▲0.1
民間在庫	寄与度	▲0.1	0.0	▲0.4	0.4	▲0.3
政府最終消費		0.7	0.0	0.2	0.1	0.0
公的固定資本形成		0.7	0.9	0.0	1.5	0.7
財・サービス 輸出		1.5	2.5	2.0	▲4.2	2.5
財・サービス 輸入		1.0	5.6	0.0	▲2.3	▲1.0
内需	寄与度	1.3	0.3	▲0.3	1.0	▲0.1
民需	寄与度	1.1	0.2	▲0.4	0.9	▲0.1
公需	寄与度	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0
外需	寄与度	0.1	▲0.6	0.4	▲0.3	0.7
名目GDP		1.2	▲0.9	1.2	2.0	2.5
	季調済前期比年率	(5.1)	(▲3.6)	(4.7)	(8.3)	(10.6)
GDP デフレーター	前年同期比	▲0.3	▲0.4	1.2	2.0	3.8
国内需要 デフレーター	前年同期比	2.7	3.2	3.4	2.8	2.5

注:シャドー部分が今回の予測値。

出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 菊池紘平 堂本健太 田中嵩大

電話:03-6858-2717

メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

メール:media@mri.co.jp
